



ALEXANDER SALKIND PRESENTS

Supergirl

www.knowitalljoe.com


東急レックス



●アレキサンダー・サルキンド・プレゼンツ

スーパー

スパークリング・ファンタジ



ガール

ジー

〈カラー作品〉

株式会社 **7**ジテレビジョン **8** 株式会社東北新社 ***** 松竹富士株式会社 



かいせつ

ドキッ と 初登場!



遙か上空を弾丸よりも早く飛ぶ、あのまっ赤なマントに赤とブルーのおなじみの衣裳 / そう、スーパーマン。いや待て / あっ、スーパーガールだ。スーパーガール? そう、スーパーガール。絶世の美女。しかもピチピチのティーンエイジャーである彼女は、超能力の持主だ。走る速さは電光石火、無限のパワー、極度に発達した視力、聴力、呼吸力、そして現代の最も進んだ科学者たちをはるかに越えた明せきな頭脳。その上、知的でエレガント、愛らしく優しい……とくれば「バイオニック・ジェミー」や「ワンダーウーマン」もマッ青 / まさに21世紀の新しいヒロインの誕生だ!!

スーパーマンの製作者、A・サルキンドが贈るノン・ストップ・アクション!

『スーパーマン』シリーズで興業収入6億ドル (1500億円) という大ヒットをとばしたアレキサンダー・サルキンドが贈る最新超大作『スーパーガール』がついにやってきた。その目のさめるようなノン・ストップ・アクション、冒険、ロマン

ス、そしてコメディ。もちろん特殊効果による度胆をぬくシーンもふんだんにもりこまれ、『スーパーマン』をしのぐ迫力で全世界のあらゆる年齢層の人たちが待ち望んでいたスパークリング・ファンタジー /

21世紀のシンデレラ誕生! 主演ヘレン・スレイターは超美少女

600人をこえる応募者の中から厳しいオーディションで選ばれた19歳の新人はニューヨーク生まれ。身長1メートル70、美しいブロンドに爽やかな美貌、加えて作詞作曲もこなす才女とときは、まさに無限の可能性を秘めた現代のスーパーガールといえよう。撮影に入る前の5カ月間、彼女は1日8時間に及ぶ猛特訓に耐えた。クロスカントリー、トランポリン、インターバル水泳、重量上げ、美容体操、その合間をぬって特殊効果監督のボブ・ハーマンが特撮を使わずに空を飛ぶスーパーヒロインの空中飛行のコーチをした。



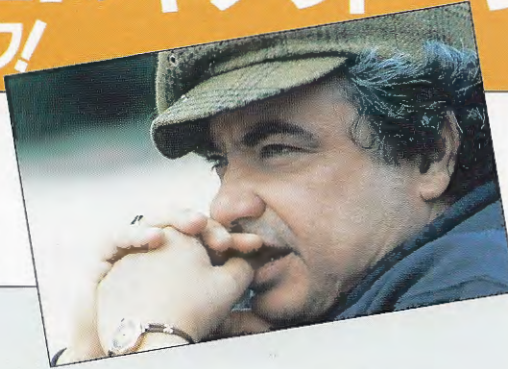
スーパーガールと対決する世紀の魔女にフェイ・ダナウェイが!



『スーパーマン』ではマーロン・ブランド、ジーン・ハックマンら大スターの出演が話題をよんだが、今回はより豪華なメンバーが勢ぞろい。世界征服をねらってスーパーガールと火花を散らす美貌の魔女セリナに、現代の最も傑出した女優といわれるフェイ・ダナウェイ。彫刻家ゾルターに、オスカーに6回もノミネートされた名優ピーター・オートゥール。スーパーガールの母に『ナイル殺人事件』のミア・ファローウ。セリナの相棒ピアンカに『真夜中のカウボーイ』でたっしやな演技を見せたブレンダ・バッカロウ。その他、『ベストフレンズ』でジャクリーン・ビセットの恋人を演じ一躍注目をあびたハンサムボーイ、ハート・ボクサーや『戦争と冒険』のチャーチル役で知られるサイモン・ウード、『フェーム』の繊細なユダヤ少女役が印象深いモーリーン・ティフィがフレッシユな演技をみせる。

監督は「ジョーズ2」のヤノット・シュワルツ。他、超一流スタッフ!

監督は『ジョーズ2』のヤノット・シュワルツで、人喰いザメから“全世界の愛と平和と真実を守るため”に戦うティーンエイジャーへと主題をかえ、意欲満々。脚本は『ダーク・クリスタル』のデ



ビット・オデル。撮影監督は『スター・ウォーズ/ジェダイの復讐』『007/オクトパシー』のアラン・ヒューム。

THE 物語 STORY

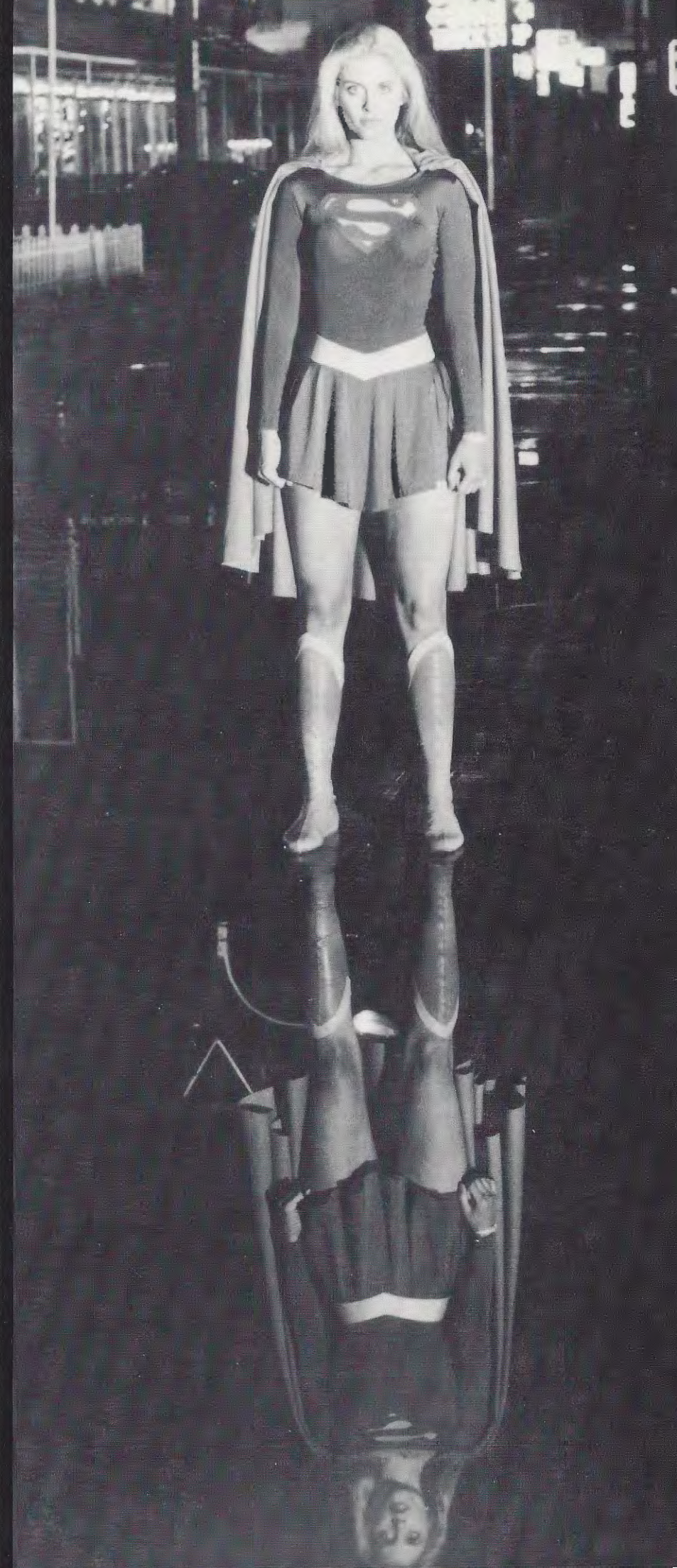
公転軌道を大きく狂わせ太陽レド・サンに異常接近して最期をとげたスーパーマンの故郷、惑星クリプトン。崩壊したクリプトン帝国の生き残りたちは海洋圏に新たな半球の世界、アルゴ・シティを発見した。物語は、このはるか遠いアルゴ・シティから始まる。

その日、スーパーマンのいここにあたる若く美しいカーラは、彫刻家ソルターが管理者の元から借りてきたオメガヘドロンをいじっていた。オメガヘドロンは表面はツヤツヤと光り、ずっしりと重く、グルグルと回転する小さなボールだが、アルゴ・シティに生きるあらゆる生命を支える力を生みだしているのだ。

恐るべき事故はその時起きた。カーラがふざけて扱った為に、オメガヘドロンは彼女の手を離れ、アルゴ・シティを覆う膜を突き破り、無限の宇宙の彼方へと飛び出してしまった。絶対不可欠の力の源オメガヘドロンを失えば、アルゴ・シティの全生命は数日の内に死に絶えてしまう。激しい罪の意識に襲われたカーラは両親が止めるのもきかずスペース・ビークルに飛び乗り、タイム・バリア（時間の壁）へ突入。その瞬間、彼女は1人の美しい少女へと変身し、かくしてスーパーガールが誕生したのである。

さてオメガヘドロンは地球に到達し、浜に打ち上げられた所を魔女セリナに拾われた。このセリナは底意地が悪く、そのくせ何をやってもダメな言わば三流どころの魔女だが、いつの日か地球を征服しようという野望を抱いていた。その夢が今、実現しようとしているのだ。彼女に劣らぬ性悪で気の荒い親友ピアンカも協力を約束する。

まもなくカーラも地球に到着するが、オメガヘドロンの行方を知るよしもない。だが、どんなことをしても仲間たちが生きている間にアルゴ・シティへ持ち帰らなくては！ この地球で誰にも気づかれ





ずに目的を達成するには地球人を装わねばならない。タイミングよくミッドヴェイル女学院の建物を見つけたカーラは、クラーク・ケントのいとこリンダ・リーと称して女学院に入学し地球での第一歩を踏み出す。当のクラーク・ケントは平和維持の為の特殊任務で、はるか遠い銀河系へ行っていた。リンダのルームメイト、ルーシーは偶然にもディリー・ブラネット社の女性記者ロイス・レインの妹で、率直で明るい女の子だ。が、中には意地悪いクラスメイトもいてリンダをいびりにかかったが、彼女のスーパーパワーにかかれればイチコロだ。

一方、セリナは恋に落ちていた。相手は小さな造園業を営むたくましい男イーサンだ。彼のハートを奪うために、彼が今後最初に目にする女性に夢中になるという魔法の薬を飲ませたまではよかったが、イーサンはセリナを目にする間もなく酔ってフラフラと歩き出し、街の中へ……。あわてたセリナは魔力を使ってシヨベルカーを誘導。彼をつれもどそうとするが誘導がうまくいかず、シヨベルカーはメチャメチャに暴れ出して大混乱が巻き起った。これを見たリンダは、すばやくスーパーガールに変身。シヨベルカーを止め、シヨベル内に缶詰にされたイーサンを助け出すと再びリンダの姿に戻る。目をさました彼が最初に目にした女性はリンダ！ イーサンはたちまちリンダのとりこになってしまった。

一部始終をマジック・ミラーで見ていたセリナは激しい怒りと嫉妬に身をこがしながら、リンダ抹殺を誓うのだった。かくしてスーパーガールとセリナの戦いの幕は切って落とされた。かたや無限の力を秘めたオメガヘッドロンという強力な武器を手にした嫉妬の炎を燃やすセリナ。対するは若く美しいスーパーガール、リンダ。まずセリナはインビジブル・モンスターを放った。リンダは激しい雷雨の中

で雷から数百万ボルトの電気エネルギーを吸収し、その力でモンスターを打ち倒す。次の闘いは無人の遊園地で展開された。リンダとイーサンを回転木馬におびきよせたセリナは、絶対に破れないというパールに身を包む。が、リンダも負けてはいない。性悪なセリナを鉄スパイクの輪に呼びこみ見事報復する。世界征服を阻む者はリンダ一人と知ったセリナは、ついに最後の恐るべき戦いを挑んできた。まずイーサンを囮にしてリンダを平板な盤に誘いこみ、宇宙のかなたの地獄、ファントムゾーンへ送りこんでしまった。リンダがいなくなった今、ミッドヴェイルの町は完全にセリナの支配下におかれた。警察は彼女の意のままに動き、イーサンは魔力によってロボットのような愛人にされてしまった。そしてこれまた魔力で、町のド真ん中に巨大なきのこを思わせる無気味な大邸宅を建てる。世界征服の実現にセリナの胸はおどった。

その頃ファントムゾーンに送られたリンダは、オメガヘッドロン取り扱い失敗の罪でここに送られてきていた彫刻家ゾルターと共に脱出を企てていた。ファントムゾーンでは、リンダは全ての超能力を失うが、あきらめるわけにはいかない。地球とアルゴ・シティの運命が今や彼女の肩にかかっているのだ。途中恐ろしいクワンタム・ポルテックス（大竜巻圏）に入った2人はすさまじい嵐について絶壁を自由に向ってよじ登る。だがもう一步のところまで、はるか地球からセリナの放った火球がゾルターに当たり、彼はあえない最後を遂げた。危機一髪、脱出に成功したリンダはオメガヘッドロン奪回の為、最後の力をふりしぼってセリナの邸へと飛ぶ。折しもアルゴ・シティではタイムリミットが近づいていた。

ここに、世界の、いや宇宙の運命を決する最後の闘いが始まった……。





「空を見よ」「鳥だ」「飛行機だ」と
くれば、あとはもう、いうまでもない。

「いや、スーパーマンだ」と続くこと
に決まっていたのだが、これからはそ
うもいかなくなる。スーパーガールか
もしれないのだ。

このスーパーマンのいところ、はじ
めてアメリカのコミック・ブックのな
かに登場したのは1956年のことだった。
もちろんそれは、スーパーマンのマン
ガのなかでのことだったが、これには
さすがの正義の超人もびっくりしてし
まった。

なにしろ、いきなり地球に飛んでき
たロケットから、美しいブロンドの美
少女が、紅いケープにスカート姿でと
びだし、「あたしスーパーガール、あ
あなたのいとこよ、よろしくね」とさ
わやかに言ったのだから。

その超能力もスーパーマンと同じだ
し、胸の横にS字マークをぬいこんだ
そのコスチュームも、パンツのかわり
にスカートである以外はスーパーマン
そっくりで、しかも英語をしゃべる。
目を白黒させているスーパーマンに、

彼女は説明した。

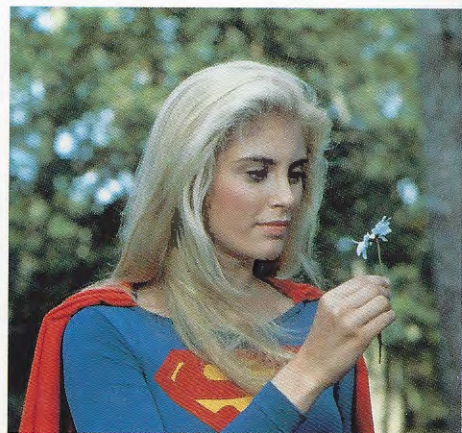
「あなたの生まれた故郷の惑星、ク
リプトンが爆発したとき、すべてのク
リプトン人が滅びたわけじゃないのよ。
アルゴ・シティのあった部分は、その
まま大きな星の破片となって吹きとば
され、ずっと宇宙を漂っていたの。アル
ゴ・シティの科学者は都市全体を透明
ドームでおおったから、空気もあつ
て、そこで人びとの生活は続いていた
わ。わたしはその宇宙を浮遊する都市
のうえで生まれたの。だから、あなた
よりずっと若いよ。」

アルゴ・シティの科学者たちは、そ
のすばらしい科学力によって、クリプ
トン爆発と同時にロケットで地球に送
りこまれたスーパーマンのその後を観
察していたのである。だからスーパー
マンの地球でのコスチュームもその生
活も知っていたし、英語をつかっている
こともわかっていた。

クリプトン人カル・エル（スーパー
マン）のいとこであるカーラ・ゾー
エルは、地球へさきに行つたいとこを
追おうと、英語を学び、スーパーマンに

似たコスチュームをつけ、地球へむか
ったのだった。こうして彼女は、地球
では茶色のかつらをつけ、リンダ・ダ
ンヴァーズと名乗り、いとこを助ける
スーパーガールとしての訓練を受ける
ことになったのだった。

スーパーマンの隠し兵器としての彼女
は、ひと目につかないように活躍して
いたが、ころあいはよし、もう彼女
を世間に出してもいいだろうと考えた
スーパーマンが、彼女の存在を晴れて
公式に明かしたのは1962年2月号の、
「アクション・コミックス」(第258号)



小野耕世〈映画評論家〉

コミック版

「スーパーガール」の生いたち



でのことだった。

世界の人びとは、このブロンドのスーパーヒロインを暖かくむかえ、手を取りあってニューヨークの空をとぶふたりに、紙ふぶきが舞った。もっとも、当時はソヴィエトはフルシチョフが首相だった時代で、彼だけは「スーパーガールなんて、資本主義の陰謀にちがいない」と、マンガのなかで、ひとり文句をいっていたものだ。

それからのスーパーガールの活躍は、めざましい。

スーパーマンを離れて、単独で事件にあたることも多くなったし、恋もしてきている。ただ、スーパーマンのコミックスとスーパーガールのそれと少しちがうのは、スーパーガールのマンガには、魔法つかいが出てくることも少なくないという点だろう。

つまり、彼女の冒険は、先輩のスーパーマンのそれよりもロマンチックで、どこかファンタジックであることだ。そして、このクリプトンから来たスー

パー一族の超能力も、魔法に対しては効果がないのである。

スーパーガールのコスチュームやヘア・スタイルも、ときには変った。このところ、スカートではなくショーツをはくことが普通になっていたのだが、映画化されることが決ってから、マンガのなかでも、映画に合わせてふたたびスカートををはくようになった。

映画でのコスチュームをどうするか、「それについては、ずいぶん激論したのよ。」

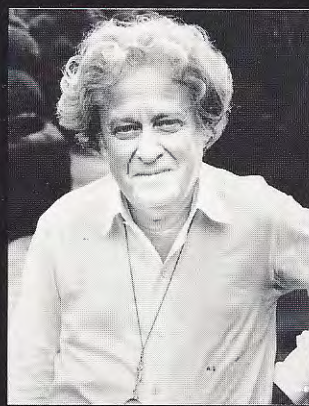
ことしの3月に来日した「スーパーマン」と新雑誌「スーパーガール」の発行元であるニューヨークのDCコミックス社の海外担当者、シャンタル・ドールニスに私に語ったものだ。「スカートじゃ、とんだりねたりできないわ。絶対ショーツにすべきよと、女の立場からわたしは主張したのに、通らなかつたわ。結局、スカートに決まっちゃった。ばかげてるつたらないわよね。」

しかし、そうはいっても、やはりスカート姿で空を飛ぶ彼女は、目に楽しい。

だが、6月に来日したこの映画のヤノット・シュワルツ監督は「ぼくは、はじめからスカートにすると決めてたよ。コミックスも読んで研究したけど、スーパーガールの飛びかたは、いとこのスーパーマンとちがって、空中バレーみたいに優雅でなくてはならない。そのためには、スカートをひらひらさせることが絶対に必要なんだよ」と、私に語った。

そして、映画のスーパーガールは、その生いたちなども含めて、最初のコミックスのスーパーガールとはちがっているが、それもまた悪くない。オール・アメリカンガールの健康なイメージそのままに、彼女はマンガと映画の空を飛んでいく。刊行されて一年半になる独立した「スーパーガール」のコミック・ブックでも、その内容設定は、さまざまに変わりつつあるのだから。

「スーパーマン」の伝説を生みだした サルキンド父子と、映画界屈指 超一流スタッフが贈る 夢・冒険・ロマンス。



スーパーマン生みの親
アレキサンダー
・サルキンド

ALEXANDER SALKIND

アレキサンダー・サルキンドは、血統はロシア人だが、いわゆる生まれながらの“無国籍者”である。何故なら、彼は、現在ポーランド領のダンチツヒ（当時は、ベルサイユ条約で自由海港都市と定められていた）に生まれ、ベルリンで育った。さらに、父の仕事の都合でメキシコ・シティへと移り住んでいるからだ。父は映画の名プロデューサーで、グレタ・ガルボ主演の「喜びなき街」をベルリンで製作した他、映画史上に残る名作、シャリアピン主演の「ドン・キホーテ」を製作した高名な人。

学生時代、神童と呼ばれた彼が、父のアシスタントとして

力量を発揮するようになったのも、当然の成りゆきと言えよう。独力による第1回プロデュース作品は、1945年のバスター・キートン主演の喜劇である。その翌年、詩人であり、なおかつ画家、劇作家でもあったメキシコ女性、ベルタ・ドミンゲスと結婚。2年後に息子のイリヤ・サルキンドが生まれている。

50年には、ヨーロッパに戻り、スペイン、イタリア、フランス、ハンガリーなどで続々と作品を発表。名作「三銃士」、「四銃士」で世界的にその名声を高めた。そして、世界的な大ヒットを記録した「スーパーマン」シリーズを父子で手がけ、その伝説を生み出したのである。

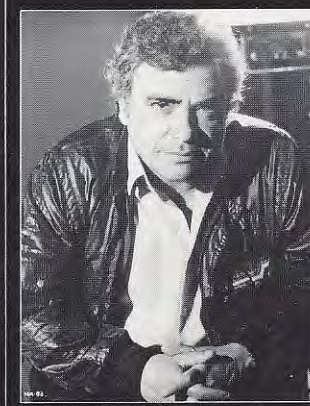


製作総指揮
イリヤ・サルキンド

した
指の

ILYA SALKIND

祖父ミゲル、父アレキサンダーと映画プロデューサー一家の血統を受けついでイリヤ・サルキンドは、1948年メキシコ・シティで生まれた。生後6ヶ月で生まれた町を離れ、ヨーロッパ各地を転々とすることにより、フランス語、イタリア語、スペイン語、英語を自由自在にあやつることができるようになった。10代の頃は映画俳優志望であったが、わがままの怠け者であったために、その夢も実現できず、ロンドン大学の哲学科に進んだ。しかし授業をエスケープし、映画ばかりみていたので、業を煮やした父親がなかば強制的に押しつけたのが、「セルバンテスの生涯」撮影現場での雑用係であった。しかし、このことが彼の映画製作への仕事に情熱を燃やすことになり、「世界の果ての光」(71未公開)では、父の共同製作者となり、この映画を成功させた。そして73年「三銃士」、「四銃士」を製作し、世界的に大ヒットさせた。79年以来「スーパーマン」シリーズを製作することにより、彼の名を世界的に知らしめたのである。その他の製作作品「殺し」(71)「青ひげ」(72)「王子と乞食」(77)「スーパーマン」(79)「スーパーマンII」(81)「スーパーマンIII」(83)。



監督
ヤノット・
シュワルツ

JEANNOT SZWARC

1939年11月21日パリ生まれ。大学卒業と同時にTVCMやドキュメンタリーの製作会社に入社。63年「シャレード」のパリ・ロケの助手として雇われる。その後アメリカに渡り、68年ユニヴァーサルTVが彼を「鬼警部アイアンサイド」の演出に抜擢。その後「刊事バレッタ」「刑事コジャック」「ドクター・ウェルビー」など数本を手がける。76年「燃える昆虫軍団」で映画監督デビュー。78年「ジョーズ2」の監督に大抜擢され、世界的に注目される。その他の監督作品「ある日どこかで」(80)



◀飛び方は女性らしく華麗で、鳥が舞うようなポーズをとる。だが、スピード・アップするときは、右手を前方に突き出し、左手を胸にそえるように飛ぶ。その速さは、電光石火のようで、まさに目にも止まらぬ速さだ。

胸いっぱい吸い込んだ空気を、スーパーガールが吹き出すと、一瞬にして▶人間も吹っ飛び、まっ赤に熱せられた鋼鉄さえ、冷えきってしまうほどの威力。



女だてらにと思われるが、彼女のパワーは計り知れない。数万トンもある重量のものさえ、軽々と持ちあげてしまうのだ。



▲スーパーガールの目には、不思議な念力が秘められている。つぼみの花もたちどころに咲かせてしまうからオドロキだ。

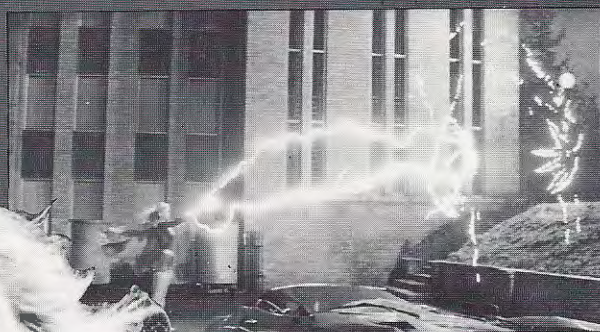
『スーパーガール』がもつ超

はるか宇宙のかなた、異次元の世界からやってきたスーパーガール。まっ赤なケープをひるがえし、弾丸よりも早く飛び、力は超ウルトラパワー。透視眼的な視力を持ち、何キロも先の音を聞きわける聴力をそなえ、しかも6次元の幾何学を学んだ頭脳は、コンピューターなど及びもしない……などなど、彼女は、あのスーパーマンに決してヒケをとらない超能力の持ち主なのだ。

何でも透して見える
という、素晴らしい
目をもつスーパー
ガール。彼女の視
力を測定する機具
は、地球上にはな
い。



▲「スーパーガール」は必ず人目につかないところで変身するが、吐嗟の場合は、飛び立ちながら、衣裳を変えてしまうこともあるのだ。



▲
激しい雷雨の中に飛び立ち、数百万ボルトの電
気エネルギーを吸収することも可能なので、
それを武器に戦うことも出来るのだ。

能力

SUPERGIRL, WHO IS SHE?

HELEN SLATER

スーパーガール★ヘレン・スレーター

1963年12月15日生まれ。射手座。

ニューヨーク、ロングアイランド出身。幸運にも600名のオーディション応募者の中から映画史上初のスーパーヒロインに選ばれたシンデレラ・ガール。

10歳の時に学校のサマー・キャンプでミュージカル「ピノキオ」から“星に願いを”を歌ってから演技に興味を覚え、グレート・ネック・ハイスクールでは「サウンド・オブ・ミュージック」のマリアや「くたばれヤンキース」のローラを演じ、15歳の時からハンプトン・プレイハウス劇場巡回劇団に参加していた。さらに彼女が所属していたマンハッタンの演劇学校の2年生と3年生の時、学校の地方公演用のミュージカル「バスとトラック」の作曲と作詞を担当した。また同時期にレーズン・ブランやチューインガムのCMに出演、「スーパーガール」に選ばれる直前には、“Any and the angel”というTV映画の主役とTVコマーシャルのホステス役が決っていた。

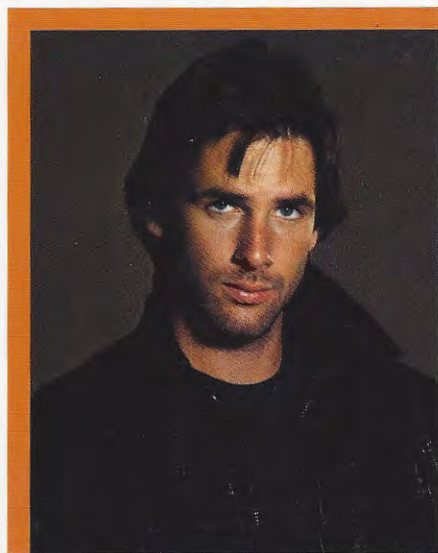
父親はワシントンの放送会社の副社長で放送界の実力者、「バリシニコフ」や「ホロビッツ」を特集したTVスペシャルのプロデューサーとして著名である。

母親は大学の最年長の法科の学生で兄もジョージアで法律を学んでいる。

身長170センチ。夢見るようなブルー・アイが魅力的な超大型のニュー・スターの誕生である。



HART BOCHNER



イーサン★ハート・ボクナー

カナダのトロント生まれ。(父は俳優のロイド・ボクナー) サンディエゴのカリフォルニア大学在学中にフランクリン・J・シャフナー監督と夫人に発見され、77年「海流の中の島々」で映画デビュー。この映画の撮影後大学にもどり、卒業と同時に「テラー・トレイン」(79)「ヤング・ゼネレーション」(80)に出演。81年TVミニシリーズの大作「エデンの東」に抜擢され、本格的な注目をあびる。最近作は、「ベスト・フレンズ」(81)



MIA FARROW



アルラ★ミア・ファローウ

1945年2月9日カリフォルニア州ロサンゼルス生まれ。(父は映画監督ジョン・ファローウ、母は女優のモーリン・オサリバン) 62年ニューヨークへ出て演技とバレエと音楽を学ぶ。63年オフ・ブロードウェイの舞台「THE IMPORTANCE OF BEING EARNEST」でデビュー。20世紀フォックスの重役に認められ、64年「ペイトンブレイス物語」に出演。同年英映画「バタシの鬼軍曹」に初出演。68年に主演した「ローズマリーの赤ちゃん」により、一風変わった独特の個性に注目をあびる。他の出演作は「ジョンとメリー」(69)「見えない恐怖」(71)「フォロー・ミー」(72)「華麗なるギャツビー」(74)「ナイル殺人事件」(78)「ハリケーン」(79)「カメレオンマン」(83)。66年7月 فرانク・シナトラと結婚したが、翌年8月には離婚。70年9月作曲家アンドレ・プレヴィンと再婚し、六人の子供を得たが、79年に離婚。現在ウディ・アレンと恋愛中である。

MARC McCLURE



ジミー★マーク・マクルーア

1957年カリフォルニア州サンマテオ生まれ。同州アルタデナにあるマウント・ロー・ミリタリー・アカデミーに通学。9歳の時からTVCM等に出演。75年カールスバッドのアーミー・ネイビー・アカデミーを卒業。TVドラマは「エマージェンシー」(72)「マッコイと野郎ども」(75)などに出演。映画出演は、「フリーキー・フライデー」(77)(未公開)「帰郷」「抱きしめたい」(78)「スーパーマン」(79)「ユーズド・カー」(80)「スーパーマンII」(81)「スーパーマンIII」(83)。特に「スーパーマン」シリーズのジミー・オルセン役で有名。「スーパーガール」でも同じ役で出演している。

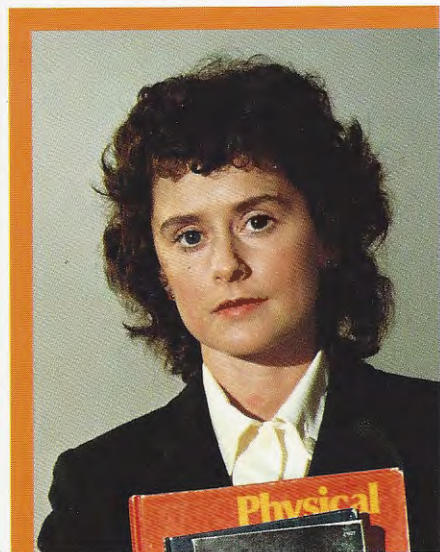




MAUREEN TEEFY

BRENDA VACCARO

SIMON WARD



ルーシー★モーリン・ティフィ

ミネアポリス生まれ。4歳の頃からタップダンス等を習い始め、後にボストン音楽院やニューヨークのジュリアード音楽院で本格的に学ぶ。ロサンゼルスに出るからはロサンゼルス・シェークスピア・フェスティバルに参加し、「冬物語」、「かもめ」に出演した。その後TVの仕事をしたが、これがプロとして最初の仕事であった。映画デビューは78年の「1941」。続いて「Scavenger Hunt」で大役を演じ、80年「フェーム」で、内向的なユダヤ人少女を演じ、本格的に注目される。日本でも81年パルコのCMに出演した。



ピアンカ★ブレンダ・バッカロウ

1939年11月18日ニューヨーク生まれ。少女時代をダラスで過ごす間9歳の時から役者になろうと決意、大学進学を望む両親の反対を押しきってブロードウェイに直行。アルバイトをしながら、演劇学校に学ぶ。数年間の下積み生活のあと、ブロードウェイの「サボテンの花でデビュー、以来3年連続トニー賞にノミネート、後に演劇界賞を受賞し、大成功をおさめ、注目される。88年ジョン・シュレシンジャー監督に認められ、「真夜中のカーボーイ」(69)で映画デビュー。以来映画スターとしても脚光を浴び、「いくたびか美しく燃え」(75)では、アカデミー賞にノミネートされ、ゴールデン・グローブ賞最優秀助演賞を受賞する。将来プロデューサーになるのが、彼女の夢だという。その他の出演作「ウィークエンド」(76)「エアポート'77」(77)「カプリコン1」(77)「ソロ」(82)「ロングウェイ・ホーム」(83)

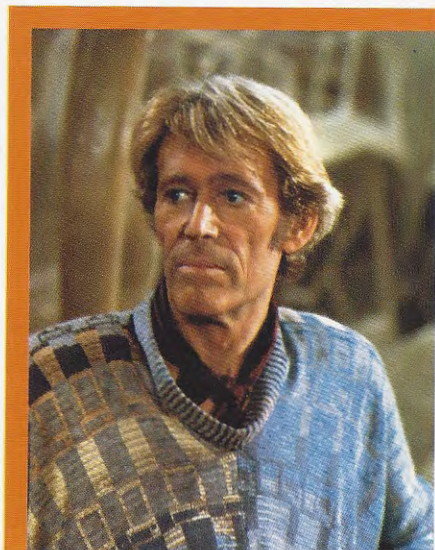
ゾーエル★サイモン・ウオード

1942年10月16日ロンドン生まれ。13歳の時から8年間ナショナル・ユース・シアターに加わり、そのかたわら王立演劇学校に学ぶ。バーミンガム・レパトリーカンパニー、オクスフォード・プレイハウスなどの有名劇団に加わったのち、68年「知られざる兵士と妻」で認められる。71年「戦争と冒険」のチャーチル役に選ばれ、一躍国際スターになった。主な出演作「フランケンシュタイン/恐怖の人体実験」(69)「ヒトラー帝国最後の日」(72)「三銃士」(73)「スカイエース」(76)





PETER O'TOOLE



ゾルター★ピーター・オトゥール

1932年8月2日アイルランド生まれ。14歳の時、「ヨークシャー・イブニング・ニュース」紙のボーイになり、後に記者となる。その後2年間潜水艦の信号手として兵役につき、23歳の時除隊と同時に王立演劇学校に学ぶ。その後ブリストルのオールド・ヴィク座に加わり、舞台の経験を積む。58年「THE HOLIDAY」の全英巡業団に加わり、この時に知り合った女優シアン・フィリップスと59年に結婚する。この年「難破船」で映画デビューし、また自らキープ・フィルムズを創立する。62年「アラビアのロレンス」でアカデミー主演賞候補となる。その後アカデミー賞に数回ノミネートされる。現在世界の映画・演劇界にとってもっとも重要な演技者の一人でもある。その他の作品「ベケット」(63)「ロードジム」(64)「何かいいことないか子猫ちゃん」(65)「天地創造」「おしゃれ泥棒」(66)「キャサリン大帝」「冬のライオン」(68)「チップス先生さようなら」(68)「ラ・マンチャの男」(72)「ローズパッド」(74)「カリギュラ」(79)「スタントマン」(82)



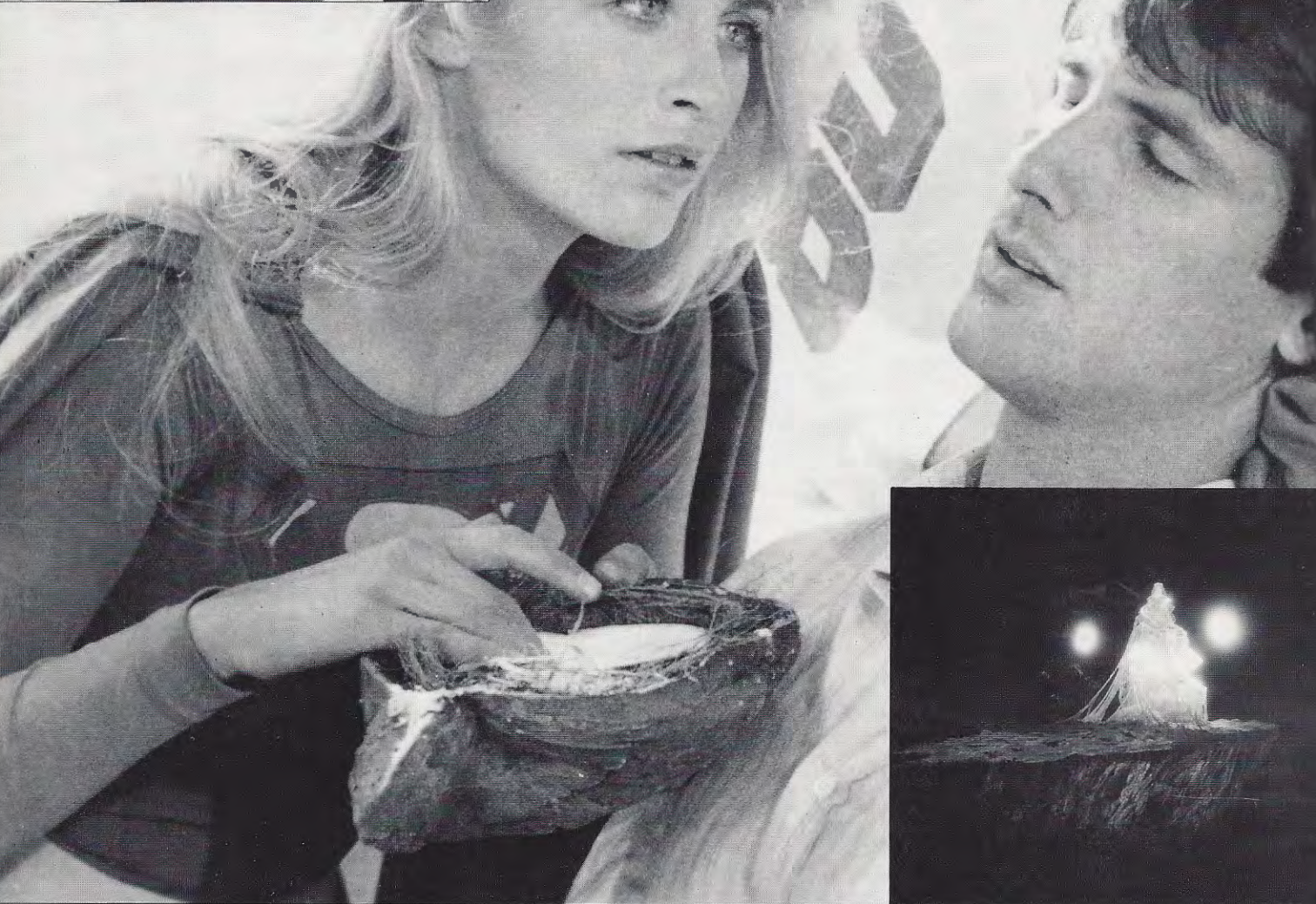
FAYE DUNAWAY

魔女セリナ★フェイ・ダナウェイ

1941年1月14日フロリダ州バスコム生まれ。軍人である父の仕事の関係でアメリカ各地のほかドイツの学校等を転々とする。その間に両親は離婚。母親の手で育てられ、フロリダ州立大学を経てボストン大学へ進学。在学中に演劇コーチのテッド・カザノフの指導を受け、女優としての頭角を現わす。その頃に恋愛関係にあったエリア・カザン監督のすすめでリンカーン・レパトリー・シアターへ入団。66年「A MAN ALL SEASON」の舞台を見た製作者サム・スピーゲルに認められ、同年「真昼の衝動」で映画デビュー。67年「俺たちに明日はない」のボニーの役により、アカデミー主演女優賞の候補となる。その後話題作・問題作に出演、ついに76年念願のアカデミー賞を「ネットワーク」の演技により受賞した。その他の出演作「華麗なる賭け」(68)

「アレンジメント」(69)「さな巨人」「ルーという女」(71)「三銃士」「四銃士」「チャイナタウン」「タワーリングインフェルノ」(73)「コンドル」(75)「さすらいの航海」(76)「アイズ」(78)「チャンプ」(79)「エビータ」(TV'81)「マミー・ディアレスト」(81)(未公開)。また彼女の恋の遍歴は有名であるが、74年8月8日ミュージシャンのピーター・ウルフと結婚。その後離婚し、テリー・オニールと結婚、一児をもうけた。





TIMOTHY BURRILL

製作★ティモシー・バリル



ロンドン・シチーの船会社をやめ、若きドキュメンタリー映画の製作者として映画産業に第1歩を踏み入れる。R・オリビエ、R・ポランスキー、ジョン・シュレシンジャーなどの有名監督のアシスタント・ディレクター、共同プロデューサー等として活躍。英国国立映画学校の初代製作監督官、映画・テレビ芸術英国アカデミー会長を歴任。『炎のランナー』『BREAKING GLASS』の予算担当、ポランスキーの『テス』の共同プロデューサーを努めた後、サルキンド父子が製作する超大作『スーパーガール』のプロデューサーに起用された。

DAVID ODELL

脚本★デビッド・オデル

1968年にハーバード大学を卒業後、脚本家に専念する。78年7月、TV「マペット」シリーズの脚本に参加。映画「マペット・ムービー」('78) (未公開)の脚本を担当する。ほかに「コースト・トゥ・コースト」('80) (未公開)があり、82年には再び「マペット」のスタッフによる「ダーク・クリスタル」の脚本を担当した。

ALAN HUME

撮影★アラン・ヒューム



1924年10月16日ロンドン生まれ。42年スタジオ入りしてデービッド・リーン監督の「大いなる遺産」、「オリヴァ・ツイスト」などの助手をつとめ、長い下積み生活を続けた。のちTV界に転じ、67年「おしゃれ探偵」シリーズで認められ、映画界に復帰した。BSC（英国撮影者協会）の理事をつとめた大ベテランである。主な作品「ネモ船長と海底都市」(‘69)「ヘルハウス」(‘83)、「オーロラ殺人事件」(‘79)、「呪われた森」(‘80)、「007/ユア・アイズ・オンリー」(‘81)、「007/オクトパシー」(‘83)。

JERRY GOLDSMITH

音楽★ジェリー・ゴールドスミス

カリフォルニア州ロサンゼルス生まれ。南カリフォルニア大学で音楽を学ぶかたわら、アカデミー賞受賞作曲家ミクロ

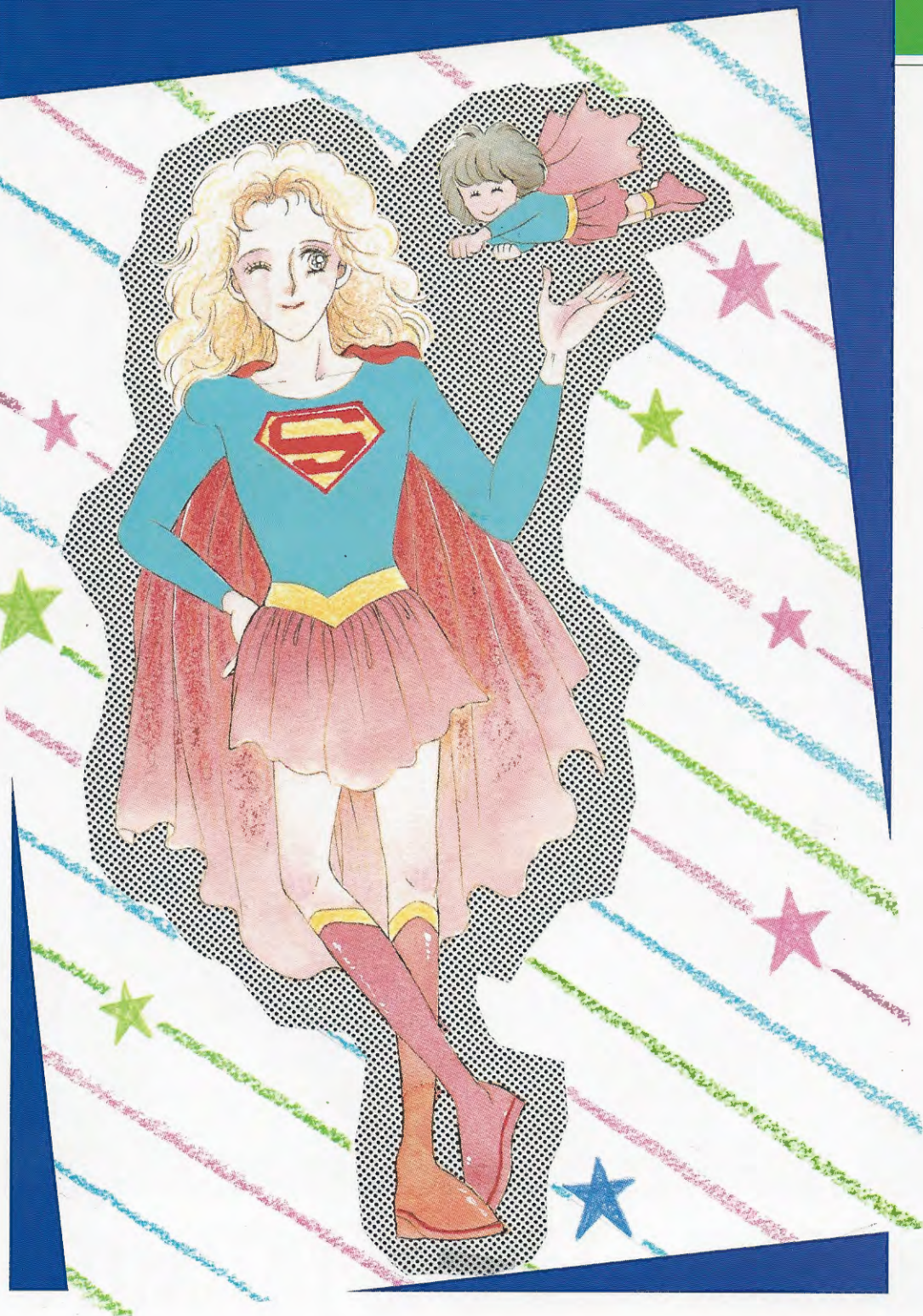
ス・ローザに師事する。1950年CBS放送に入社、ラジオ・ドラマの音楽を経て、56年頃からTVシリーズの音楽「プレイハウス90」、「トワイライトゾーン」、「ドクター・キルデア」、「ガン・スモーク」などを担当し、「スリラー」、「ナポレオン・ソロ」でエミー賞にノミネートされ、「赤い仔馬」(‘73)「QB VII」(‘74)「愛のメダリスト」(‘76)でエミー賞を受賞する。映画音楽は、57年の「BLACK PATCH」が最初であるが、62年の「脱獄」で注目される。73年以來4年連続アカデミー賞にノミネートされ、76年ついに「オーメン」で作曲賞を受賞する。現在アメリカ映画界で超売れっ子の作曲家の一人である。その他の代表作は、「野のユリ」(‘63)「砲艦サンパブロ」「ブルーマックス」(‘66)「猿の惑星」(‘68)「パットン大戦車軍団」「トラ・トラ・トラ」(‘70)「パピヨン」(‘73)「チャイナタウン」(‘74)「風とライオン」(‘75)「カプリコン」(‘77)「スター・トレック」(‘79)「アウトランド」(‘81)「ポルターガイスト」(‘82)「トワイライトゾーン」(‘83)。

絵
と
文

高野葉子 ● 「週刊セブンティーン」専属漫画家

スーパーガールはやっぱり リアルアメリカン ヒロイン

なのだ



独断と偏見的な期待で……不安……不安……の開幕5分前。
が、果たして始まってみると、そんなものはいっぺんに
ふっ飛んだ。赤いケープを翻し、S字マークも鮮やかに、
スーパーガールは空を飛ぶ。そのりりしさ、美
しさ、可憐さ……その上、ちょっぴりロマンチック
してて……もうナットク。やっぱり彼女は、現代が
生んだスーパー・ヒロイン。少年少女へ果てしない
夢を与える、21世紀のニュー・アイドルだ。そして映画
はやっぱり、超娯楽大作が最高で、三重花丸悦楽気分!!!





「申し訳ありません」なのだけれど、わたしは映画をあまり観に行かない。…いや行けない。…ことが多い。

それでも今年上半期は、がんばってけっこう一観たなあ、と指折って数えてみたら6本だった。だいたい月1本の割り合いですね。でもその内4本はゴールデンウィーク中の2日間にまとめて観たから、何ヶ月も間があいちゃったりしちゃうのだ、仕事柄。

わたしの住んでる街はピンク映画館一軒しかなくて、ロードショーを観に行くには、ちょっと足をのばさなくてはならないので（とは言っても急行で渋谷・新宿に一駅なのだけけどさ、へへ…）忙しい時なんかは、ついつい疎遠になってしまふ。

で映画館がウチへ遊びに来てくれるといーなー♡とビデオを買ってはみたものの、律義なわたしはテレビの前に、きちっと正座して何時間もベターッと観てしまう。コレもイケマセンね。シメキリ前だ。

だから今回のように「観てきなさいね!!!」なんて「！」が3つくらいつくと「ふぁーい。」なんて一応気のない返事をして、実は内心るりり♡気分です。試写館へ向かい、与えられた時間を目いっぱい楽しんでしまうのさ。ふふふ。それも今回のように超娯楽大作映画だとも一三重花丸悦楽気分。（漢字が多くてスイマセン。）わたしは痛快娯楽映画が大好きなのだ。

映画館の椅子に座わり、さて前回は何を観たのだったけなと記憶の糸を辿ってみると、そうだ、あの「歌う映画スター」もとい「麗しのロック・ミュージシャン」デビッド・ボウイの（正確にはカトリーヌ・ドヌーブ主演だった）「ハンガー」であった。あの映画は現代版・吸血鬼物語で、独特な存在感のある（かどうか、わたしは観たことないのでわからないが）ペラ・ルゴシといい、のちのクリストファー・リー（この人のは、ある）といい、口が大きくて歯並びの悪い（ファンの皆様ゴメンナサイ）デビッド・ボウイといい、実に“はまり役”のドラキュラさんでしたな。

だからわたしは内心とても不安だった

のです。スーパーガール役がどんな女優さんか。べつに、ドラキュラさんとスーパーガール、スーパーマンを較べるつもりはないけれど彼等やターザン、フランケンシュタイン、新しいところではワンダーウーマンさんたちは、いわば子供心にも英雄でしたからね。不安、不安…の開幕5分前。とゆー心境です。皆さんにも経験あるでしょう。大好きな連載漫画がアニメ化される事になりまして、ドキドキワクワクしながらテレビをつけたらヒロインの声がまるっきりイメージと違っちゃってガックリ…うーもう観るもんか!!ってコトが。そんな感じの不安なのですよ。

が、果たして、映画が始まってみると、そんな「余計なお世話」も、いっぺんでふっ飛んでしまいました。とにかくかわいいのですよ、主役のヘレン・スレイター嬢が!! スーパーガールというのは読んで字の如し「スーパーガール」なワケで、そのイメージはパーフェクトでなければいけない!!なんて大上段的独断と偏見を持っていたのですが、最初の瞬間から「ああ、彼女でよかった。」と安心して椅子に座りなおし、最後まで充分に楽しむことができました。

映画ではちょっとわかりにくいのですが、舞台あいさつに立った彼女はとても背が高い。1メートル70あるそうです。そしてとてもスリムで、カメラのフラッシュを浴びると消え入りそうな淡く華かな金髪。ついついタメイキが出てしまいます。あれでまだ19歳だなんて。神様は不公平だわ。でも神様が彼女に美と智をお与えにならなければ、この映画は出来なかったんだなあ、と突然宗教にめざめたりして。うーむ。

赤いケープを翻し、S字マークを縫いこんだコスチュームに超ミニスカートで空を飛ぶ金髪のカーラはりりしくてとても美しい。また女学院で友だちと遊ぶ、茶色の髪のカツラをつけたリンダ（カーラ）は、また可憐ですがすがしい。ちなみにコスチュームのスカートの下にはテニス選手がはくようなスコート(?)をつけているので、少年たちは期待していてもムダです。はっはっはっ。でもやっ

ぱりその御足は美しく、目に楽しい♡

最初「スーパーガール」と聞いて、思ったのですが…あのムキムキスーパーマンのいとことゆー設定だし、アメリカは今、雑誌・ビジュアル等によると、フィットネス・ボディビルブームだそうありますから、そのアメリカのリアルヒロインたるべく「スーパーガール」はやっぱり筋肉隆々な女性なのかななんて予想もみごと外れて、なんとなくヨカッタヨカッタ。地球の男性イーサンへの初恋もロマンチックしてて、やっぱり初恋はこうでなくちゃね、なんて納得しちゃいました。しかしイーサンをめぐっての恋のサヤアテ、魔法のセレナとの戦いはずさまじい!!の一言。どこのお国でも、相手が人間でも超能力者同士でも、こればかりは変わりませんね。妖艶な化粧に腰のすわった貫禄のフェイ・ダナウェイが演じる「年下のオトコに狂っちゃった」セレナ役は、も〜圧巻モノです。

ただラストで無事オメガヘッドロンを取り戻したスーパーガールがあっさり恋人のイーサンと別れてアルゴ・シティに帰ってしまうのは、チョイ物足りなかった。あんなに愛し合ってるのにねえ…。やっぱり異星人同士の恋は成就しないものなのでしょうか。それとも、あれがアメリカ式恋愛術なののでしょうか…?

今回残念ながらスーパーマンは特殊任務で遠く銀河系へ出張中ということで登場しませんでした。いつか2人が共演という事もありえるでしょうか（うっ、まるでウルトラ兄弟のよーだ。）わたしは是非続編を望みたい!! スーパーガールも年をとるのかどうか知りませんが、できたら今のままのイメージでいってほしいと思います。ウン。

それからちょっと気になる、ルームメイト役のモーリン・ティフィ嬢、どこかで見たコトあると思ったらパルコのCMに出ていたんですね。ボーイッシュでキュートな子です♡

もう一つ、BGMにさり気なくイギリスのミュージシャン、ハワード・ジョーンズを使ってあるトコが、わたしのよーな音楽ファンには、うれしい限りでした。では。



としては、スーパーガールでのシーン、リンダ・リーでのシーンを撮った事と、後はインタビューがありました。

ティモシー：ここで私がちょっとつけ加えたいのですが、私達がニューヨークで一番最初にオーディションしたのがこのヘレンなのです。私達はその夜インタビューのビデオを見直していて、彼女がセントラル・パークを見降ろしているシーンにフィルムを止めまして、「この子がスーパーガールなんだ！」という事を確信したのです。

一緒に活躍する映画を作る予定は？
イリヤ：まずはこの作品が公開されてからのリアクションをよく見て判断しなければいけないと思いますが、スーパーガールとスーパーマンが一緒に出るというストーリーラインを考えるのが非常に難しい。又、この作品自体だけでも2年間かかっているの少し時間の余裕がほしいですね。でも、「スーパーガール2」は確実に出るんじゃないかと思っていますよ。

Q. シュワルツ監督はスーパーマンを3本とも御覧になったと思いますが、スーパーガールを作るにあたってどの様な心がけをなさったでしょう。

ヤノット：スーパーマンのエキサイトメントは同じ物を追求してきたと思います。もちろん2人とも、スーパーパワーを持った特別な人たちで、スーパーマンでは「パワー」が主な目的でした。しかし彼女の場合はまだ子供ですので、スタイルや魅



力的なコト、エレガンスであるというコトを主に考えておりました。又、大きな違いとして、スーパーマンは赤ちゃんの時に地球にきましたね。スーパーガールでは17才の時に新しい土地に来たという事に、自分で反応しなければいけないというところが大きな違いですね。

この映画のキャンペーンのため、スーパーヒーロー、ヘレン・スレイターとメイン・スタッフが来日した。6月18日、ホテル・オークラに約150名のマスコミ取材陣を集めて、早速記者会見。午後1時30分、大勢の記者達が待ち受ける中、赤いマントならぬ、ピンクのパンツ・スーツでスーパーガール——ミス・ヘレン・スレイターが登場。長旅の疲れもみせず、スクリーンでの彼女そのままの長く美しい金髪と愛くるしい笑顔、初めて私達の前に披露した。隣にはイギリス紳士の、製作者ティモシー・パルル氏。製作総指揮イリヤ・サルキンド、監督ヤノット・シュワルツの両氏は仕事の都合で当日来日。記者会見途中に成田から飛び込むというあわただしいスケジュールのなかで、会見は始まった。

Q. 600人のオーディションの中から選ばれたという事ですが、そのオーディションの内容と、受けるに際して準備した事は？
ヘレン：準備をするといっても、ダンス用品のお店で、レオタード、タイツ、ブーツを買い、ヘンデルの「メサイア」という曲を練習用の曲に使っただけです。内容

Q. なぜ、スーパーガールのオーディションに参加したのですか！？

ヘレン：私は高校時代演劇部に入っていて、いろいろなトレーニング、勉強をしていたんです。この辺でどの位自分が出るのかを確かめたくて、ありとあらゆるオーディションを受けていたの。だから、スーパーガールも数あるオーディションの中の1つでしかなかったわ。でも、今は特別なものになったけれど。

(ここでイリヤ、ヤノット氏が到着！)

Q. 今後、スーパーマンとスーパーガールが

以上、約1時間の会見の後、青山ベルコモンズ・クレイドルサロンでのウェルカム・パーティへ向かった。

フェイ・ダナウェイから記者団へのメッセージ



『東京にいる私の友達へ。今週ヨーロッパに残らなくてはならなくなった事を、とても残念に思います。"スーパーガール"のプレミアに出席する事を非常に楽しみにしていたのですが、私の次の映画のスケジュールを変える事が出来なかった事を、言葉で言い尽くせない程残念に思っています。6月18日の記者会見に出席なさっている記者の皆様によろしくお伝えしたいと同時に、私はこの映画が大成功に終わる事を確信している事をお伝えしたいと思います。』

——大成功を祈り、又、愛をこめて—— フェイ・ダナウェイ

(ティモシー・パルル代読)

SUPERGIRL



ファッション
ヘレン ナブル



レオタードも
バッチリ!!



WHO'S WHO

Q生まれは？

A1963年12月15日、ニューヨークのロングアイランド生まれよ。父はTV局の副社長で、母は法学士。兄も法律を勉強中。両親は、私が8才のときに離婚したけど、二人ともとても素晴らしい人よ。

Q趣味は？

Aピアノと読書。女の子っぽいでしょう。

Qスポーツは？

A「スーパーガール」を演って全部好きになっちゃった。体を動かすって体にも心にもいいことね。

Q好きな音楽は？

Aジャズ、ブルース……それとゴスペルね。ハートにジーンとしてみてるようなのが好き。

Q好きなものは？

A食べものだったらサラダ。肉はちょっとニガ手なの。でもお料理するのは好き。それと……ジープね。私、運転免許もってるのよ。おさまりかえった車より、ジープの方がカッ

るもの。

Qボーイフレンドは？

A残念ながらいないの。イングランドで撮影したときデートしたことはあるけど、今、仕事より愛せるものがないもの。

Q理想の男性像は？

Aうーむ……わからない。

Q男の優しさについてひと言

A男の人が優しくかったら、世界はもっと良くなるでしょうね。

Qケンカしたことある？

A自分自身とはしょっちゅうね。よりよい人間になるためにね。でも、他の人とは争いたくはないわ。戦争はキライ！

Q今、コレクトしているものは？

Aアイデアと思想とユーモア。今も、これからも私に必要なものでしょう。

Q夢は？

A子供のころは先生になりたかったの。今は……少しでも完璧な人間になること……かな。

Q信念は？

Aものごとを判断する前に、共感するように心がけてるわ。

Q尊敬する人は？

Aジャンヌ・ダーク、チェイホフ、シェークスピア、アインシュタイン……ちょっと堅いわね。そうバーバラ・ストライサンドは尊敬してるわ。

Q女優は続けますか？

A続けてゆく方向では考えてます。

Q演じてみたい役は？

Aそうねえ、スーパーガールとは正反対の暗い感じの役なんておもしろいんじゃないかしら。でも、スーパーガールの人を感動させるすばらしい能力は持ち続けていたいわね。ずっと。

Q「スーパーガール」に主演して感じたことは？

A私は、映画スターじゃないってことがわかったわ。

Q「スーパーガール」で世界的スターになることは約束されているわけだけど、世界で行ってみたい国は？

Aできるなら、すべての国に行ってみたいわね。

コいと思わない？ 動物はみんな好きよ。

Q睡眠時間は？

A6時間から8時間。美容と健康のためにねむりはたっぷりね。

Q好きな色は？

A赤、青……そう虹の七色は全部好き。

Q好きな服は？

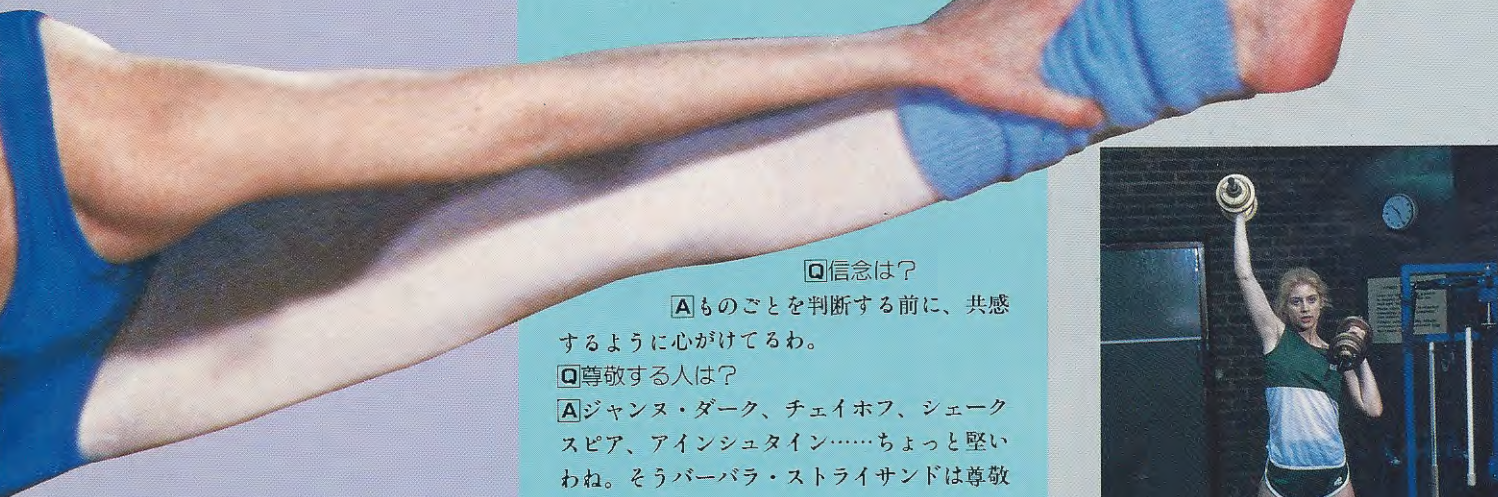
A「スーパーガール」はピシッとしたレオタード、スタイルだけど、本当はダブダブなのが好きなの。ゆったりとくつろげるものってのがファッションの第一ね、私の場合は。お化粧もふだんはほとんどしないわね。

Q今、自分でいちばん大切にしているものは？

A静かな時間と、いい本。

Q好きな花は？

A女の子って、花はみんな好きなんじゃないかしら。どんな花にもそれぞれに美しさがあ



PRODUCTION EPISODES

プロダクション・エピソード



ア レキシサンダー・サルキンド・プロダクションの最新作「スーパー・ガール」は、1983年4月18日、ロンドンのパインウッド・スタジオで撮影が開始された。無名の新人だったニューヨークっ子のヘレン・スレイターは、映画史上初めて、ティーンエイジャーとしてスーパーヒーローの大役を射止めた。

19歳の彼女は、マンハッタンの演劇学校を卒業したばかりだが、演技者としては、すでにかかなりの経験を積んでいた。彼女の父は、放送界の実力者であり、「バリシニコフ」や、「ホロピッツ」を特集したTVスペシャルのプロデューサー。その影響もあってか、グレート・ネック・ハイスクール在学中は、「サウンド・オブ・ミュージック」、サマー・キャンプ演劇公演では「くたばれヤンキース」に出演するなど、その才覚を覗せていた。また、演劇学校に在学中は、学校の地方公演用のミュージカルで音楽と作詞を担当、その才女ぶりを発揮している。

サ ルキンド家は、3代にわたり、映画界に君臨する一族。今回の製作総指揮を執るイリヤ・サルキンドの祖父は、グレタ・ガルボの最初の映画を作った歴史的人物で、父は、オーソン・ウェルズのカフカ原作「審判」を製作した人。何よりも、「スーパーマン」シリーズを製作して、全世界に爆発的なヒットを飛ばし、大成功を収めたことで有名で、この「スーパーガール」を含め、サルキンド一族は、「スーパーマン」の伝説を作り続け

ている。

キ ャスティング・ディレクターは、スーパーマン役にあのクリストファー・リーブを見出して注目を浴びたリン・スティールマスター。「今回のスーパーガール役には、何百人もの候補者を審査したが、その中で、ヘレンは熱意に満ちた最も若い一人だった。」「経験ということでは、まだ短いかもかもしれないが、彼女は無限の可能性を秘めている」と、スティールマスターは言っている。



ス ーパーマンのいとこであるスーパーガールは、1959年、DC・コミックスに初めて登場した。DC・コミックスによると、スーパーガールは、アルゴ・シティで育ったが、15歳のときに、惑星クリプトンの有毒物質のために、彼女の住む惑星が滅亡の危機にさらされたので、シカゴ近郊のミッドヴェイルに飛来した。そして1962年の2月、スーパーマンはスーパーガールを世界に紹介し、国連の特別会議にも登場することになった。スーパーガールは、その席で、国連加盟

国に自由に出入りできる黄金の査証を与えられ、ケネディ大統領にも会い、「君のスーパーパワーを犯罪との戦いだけではなく、世界平和の為に役立てて欲しい」と期待された。

しかしヘレン・スレイターにとっては、ホワイト・ハウスのプレミア・パーティや、国連の歓迎は、はるかに先のことで、撮影に入る前の5ヶ月間、一日8時間に及ぶ激しい肉体的特訓に耐えた。



プ ロダクション・デザイナーのリチャード・マクドナルドと、美術監督テリー・アクランド・スノーの手によって、パインウッドのスタジオ内の七つの巨大なサウンド・ステージ(450万立方フィート)に、アルゴ・シティの街並み、幻想的な幽界、現代のアメリカ高校、そして、そのまま使える遊園地などを建てられた。更にスタジオの裏には、都市再開発さながらに、シカゴ郊外の典型的なアメリカの町が、作られた。ここでは、電球一つにいたるまで、本物が使用されて、一つの町が、リアルに出現した。



テ ス」の共同製作者であり、「炎のランナー」も手がけた、ティモシー・バリル、「ジョーズ2」の監督ヤノット・シュワルツは、この巨大な冒険物語、スーパーガールを、過去に大成功を収めた「スーパーマン」シリーズ同様、快調のスペースで撮影を進行。シュワルツはスーパーガールは、「スーパーマンが、力と強さの権化なら、スーパーガールは、美しくエレガントでなくてはならない」と語っている。

SUPERGIRL

AN ALEXANDER SALKIND PRESENTATION

■キャスト■

セリナ——フェイ・ダナウェイ
スーパーガール/リンダ・リー——ヘレン・スレイター
イーサン——ハート・ボクナー
ナイジェル——ピーター・クック
アルラ(スーパーガールの母)——ミア・ファローウ
ジミー・オルセン——マーク・マクルーア
ルーシー・レーン——モーリン・ティフィ
ビアンカ——ブレンダ・バッカロウ
ゾーエル(スーパーガールの父)——サイモン・ウオード
ゾルター——ピーター・オトゥール

■CAST■

Selena——FAYE DUNAWAY
Supergirl/Linda Lee——HELEN SLATER
Ethan——HART BOCHNER
Nigel——PETER COOK
Alura——MIA FARROW
Jimmy Olsen——MARC McCLURE
Lucy Lane——MAUREEN TEEFY
Bianca——BRENDA VACCARO
Zor-El——SIMON WARD
Zaltar——PETER O'TOOLE

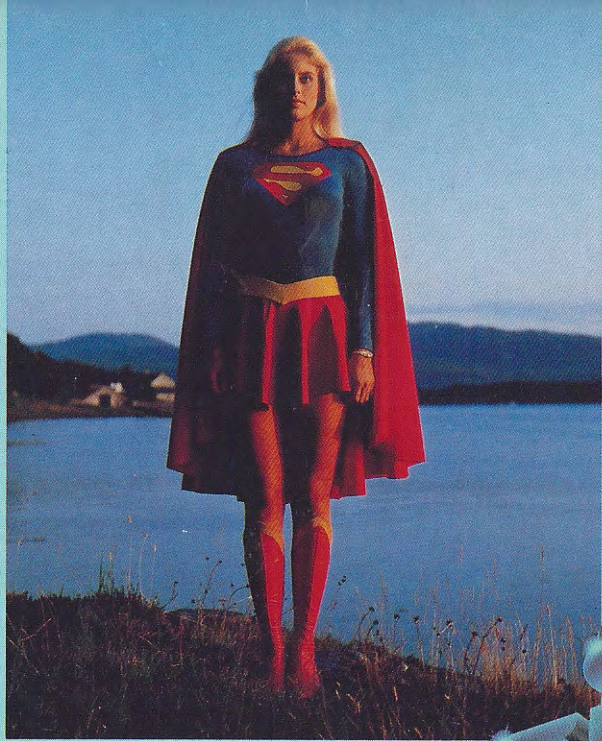


■スタッフ■

製作総指揮——イリヤ・サルキンド
製作——ティモシー・バリル
監督——ヤノット・シュワルツ
脚本——デビット・オデル
撮影——アラン・ヒューム
プロダクション・デザイナー——リチャード・マクドナルド
音楽——ジェリー・ゴルドスミス
キャスティング——リン・スティールマスター

■STAFF■

Executive Producer——ILYA SALKIND
Produced by——TIMOTHY BURRILL
Directed by——JEANNOT SZWARC
screenplay by——DAVID ODELL
Director of Photography——ALAN HUME
Production Designer——RICHARD MACDONALD
Music Composed and Conducted by——JERRY GOLDSMITH
Casting by——LYNN STALMASTER



ALEXANDER SALKIND PRESENTS

Supergirl

スパークリング・ファンタジー

© DC COMICS INC. 1983

